

収録絵柄一覧

No.1 ヴェネツィア
サンタ・マリア・デッラ・サルデーテ聖堂



No.3 ドロミテの山



No.5 ヴェネツィアの運河



No.2 フィレンツェからローマへ
移動中の風景



No.4 ローマ
サトゥルヌス神殿



No.6 フィレンツェ
サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂



あこがれていたイタリアを取材しながら行く先々での感動を絵に込めました。
日本とはまた違った色彩に溢れていて、明るく大胆な配色で描けたように思います。
原画の絵は、透明水彩絵の具を使用していますが、
好きな画材で自由に彩色すると、オリジナルの美しい絵が仕上がります。
塗り絵の部分は、塗りやすい画用紙を使用しておりますので、
ミシン目から切り取ってそのままお使いください。

No.7 フィレンツェ
ミケランジェロの丘より



No.9 ローマ
フォロ・ロマーノの公園



No.11 ヴェネツィア
リアルト橋からの眺め



No.8 オルタ湖
サン・ジュリオ島



No.10 ミラノ大聖堂



塗り絵は、
切り取って
すぐに使える
ミシン目入り



水のある風景は天候によって描き分ける



No.8 オルタ湖 サン・ジュリオ島

水辺の風景は、水面に映り込む風景の描き方の違いで、雰囲気はかなり変わってきます。晴天で風のない日はコントラストを強めにはっきりと描き、曇りの日はぼんやりと描きます。風の強い日はさざ波がたっている様子をイメージして、描きましょう。

晴れ



曇り



風



色鉛筆ミニレッスン

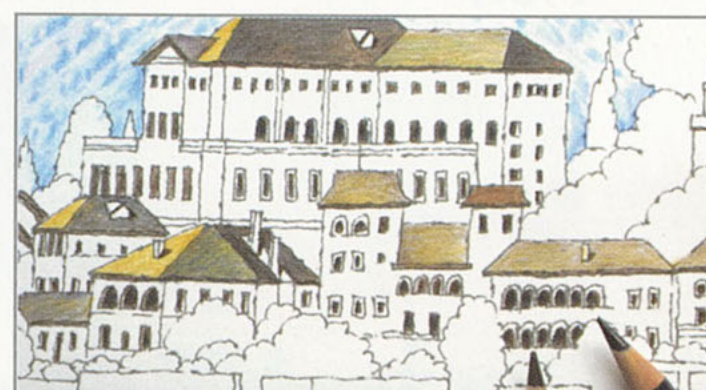
1 遠景から順番に描く



空と背景の山から描きます。中景の山は、うねりに沿って青色の点描で樹木を描きます。

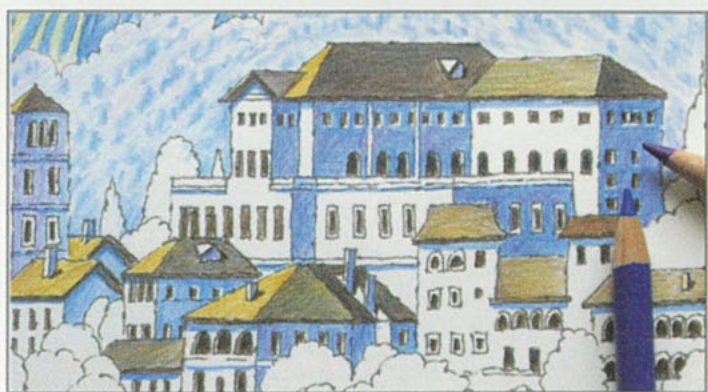


屋根は、光の当たっているところは黄土色で塗り、影は焦げ茶色と青色を塗り重ねます。



窓は、焦げ茶色や藍色など濃い色を塗ります。

2 建物の壁は影を最初に描く



壁の影を青系の色で塗ります。少し紫色を重ねると深い色が表現できます。

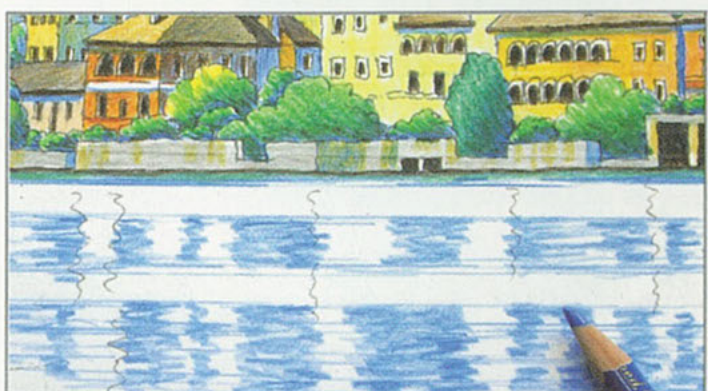


光の当たっている部分の壁に明るい色を塗ります。影の部分にも重ねて塗り、なじませます。

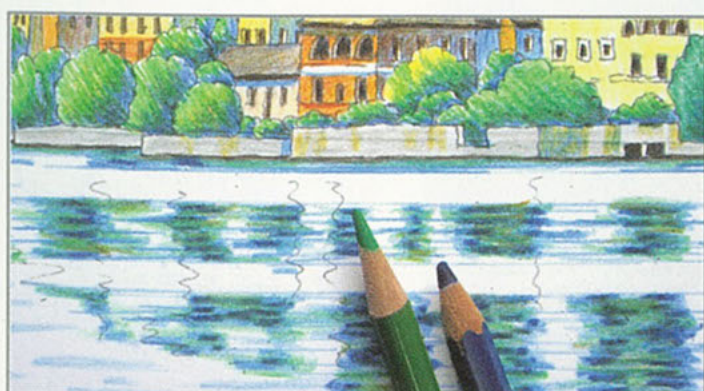


樹木は、緑色やオレンジ色、黄色などで塗り、影は、青系の色の濃淡で描きます。

3 水面の揺らぎをイメージして彩色する



水面は、水色や青色などで、光の当たっている部分を塗り残しながら濃淡をつけます。



樹木の反映をイメージしながら、緑色や藍色を塗り重ねます。



ところどころ黄色を塗り、塗り残したところの水面全体に淡い青色を塗ります。



No.3 ドロミテの山

イタリア北東部、世界遺産に登録されたドロミテ渓谷です。コルティーナ・ダンペッツォから見た山は、中央、真ん中という意味の‘チェントロ’と地元では呼ばれていました。

